

誓いの言葉

今日、春の訪れと共に私たち百十二名は明星中学校を卒業します。長いようで短かった私たちの三年間の幕が閉じることになります。卒業するのは寂しいですが、友達や先生と築きあげた中学校生活は大変充実したものになりました。

三年前の春、期待と不安を胸に抱いた入学式がこの前のように感じられます。あの日から私達は様々なことを学んできました。

中学校の何もかもが大きく見えて、自分達が中学生になったという実感がわきました。中学校生活では部活に励むと共に、学校行事に大きく関わってきました。体育祭では同級生との仲間意識を大切に、一生懸命に取り組みました。そして、先輩方が団結し、一つの目標に向かって挑む姿に憧れました。三年生で行った集団演技では、クラスを超えて学年全員の心を一つにまとめて成功できたと思っています。

明星祭ではクラス、学年、そして学校全体が一丸となって取り組みました。日々の活動を発表する場でもあり、仲間の活躍を見ることが良い刺激となりました。合唱コンクールでは、クラスが一つにまとまる事の大変さを実感しました。

練習をすればするほど結果に結びつくので、個人の取り組む姿勢に大きく左右される行事でした。練習を繰り返すうちに、もつとどうまくなりたと思う人が増え、皆の心が一つになったように感じました。本番でみんなの声が一つになったときは涙が出そうな程に感動しました。学校行事では様々なことを学ぶとても貴重なチャンスであり、大人になってからでは経験できないものです。私達の人生で仲間と協力した思い出はきっとこの先も役に立つと思います。

三年間の中で私達は色々なことに直面してきました。うれしかった事、辛かった事、楽しかった事、夢中になった事。これらと出会うためには一日一日を大切に生きる事が大事でした。戻りたくても戻れないからこそ、毎日を意味のあるものにしていけるような日々をこれから送っていきたいです。ここまで育ててくれた両親に、学校生活でお世話になった先生方、どんな時でもそばにいてくれた友人に感謝しています。中学校生活で学んだことを活かし、新たなことに挑戦していきたいです。健康で真面目に努力することを忘れず、世界に貢献できる人になることをここに誓います。

令和四年三月十七日

明星中学校

卒業生代表

大澤 茉央